

研究大学強化促進事業のオーガナイズ (URAの役割)

○研究大学強化促進事業の採択と新組織の構築

○実施体制
 本学の研究力を強化し、本学が国際的に卓越した研究拠点となることを目的として「研究推進機構」を新設。

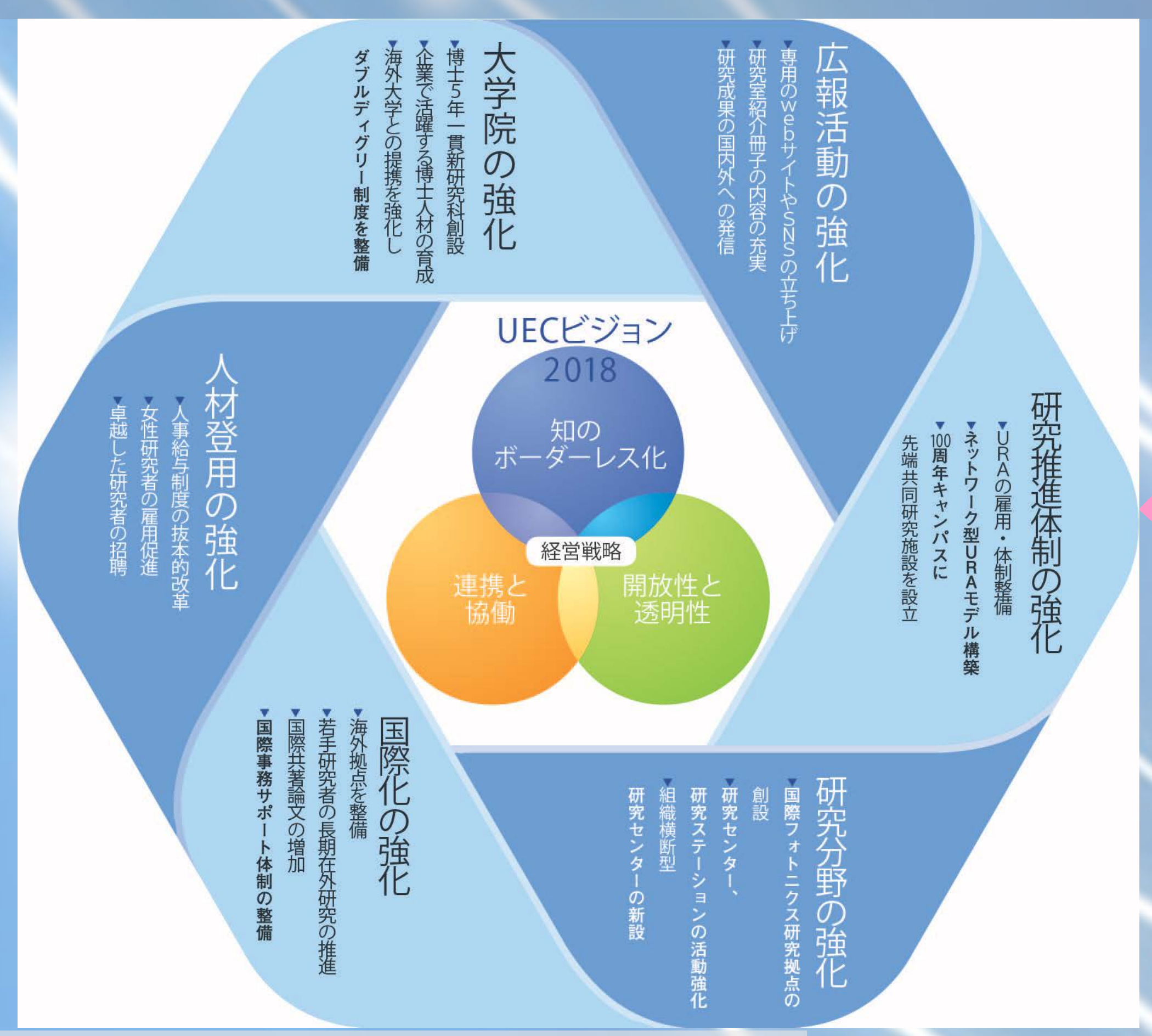
○ネットワーク型URA
 各URAは研究企画室に籍をおきつつも、各自の特質に応じて、研究推進センター、産学官連携センターの各室、各部門業務を兼務し、協働することを通じ、組織間の連携ネットワークのハブとして機能。今後は他大学のURAとのネットワーク化も図る。



○本学の特徴
 ①外国研究者との国際共同研究を通じて、高い国際共著率を維持している。
 ②光科学と光工学分野で基礎～応用にわたって幅広く特色ある成果をあげている。
 ③スーパー連携大学院を通じた産業界との連携を推進。

○研究大学強化促進事業における本学の取組み

「知のボーダレス化」、「連携と協働」、「開放性と透明性」の3つの経営戦略 → 「小さくても光る大学」を目指す。



○研究推進のためのURAの位置付け
 <研究企画室のURA>
 研究推進機構配下、研究推進センター内の研究企画室は、研究力の強化に必要な調査、企画、立案及び研究支援を行うことを目的とする。
 ○研究企画室、URAの使命・任務等については、「電気通信大学の研究力強化と研究企画室の役割」(報告書)として、学内承認後、関係各組織・教職員に周知。
 ↓
 本報告書が研究企画室(URA)の活動の基盤

○本学のURAの活動類型

<URAによる業務の進め方(基本的枠組み)>

- ①原則チーム単位。(一人のURAが全ての業務を一律に担うことはしない。)
- ②チームとそのメンバー構成は、研究企画室会議で選定。主担当をおき、チームの業務のとりまとめの責任を負う。

研究企画室が企画提案し実施する業務 (能動的業務) = A業務

- ①学内研究力の調査、分析、研究戦略策定、学内への意見具申
- ②研究プロジェクトの企画、研究者に提案
- ③研究プロジェクトの組織化、研究資金の獲得をマネージメント 他

研究者からの提案に基づき実施する業務 (受動的業務) = B業務

- リサーチコンシェルジュ制度(注)に基づき、研究者からの要請を受け、支援
 - ①プロポーザル作成支援(バックデータ収集)
 - ②研究プロジェクト企画支援(共同研究者発掘・斡旋、競争的研究資金の調査・紹介、関連研究動向の調査 他)
- (注) 研究者からの研究よろず相談をone-stop窓口で受け付ける



UEC x URA

国、独法、自治体等の予算、政策情報等収集 = C業務

